

# 議会だより やまもと

Vol.202  
令和5年11月1日発行



議員さんってどこでどんなことしてるの？  
～8月10日（木）議場見学会～ ※詳細はP16へ

## 第3回定例会

会期 9月1日～21日

## 第1回臨時会

会期 7月28日

- 令和4年度決算（概要、総括質疑、特別委員会）……………P2～6
- 一般質問（質問議員7人）……………P7～14
- 議場見学会……………P16
- 委員会報告……………P17

# 令和4年度決算 成果は？ 効果は？

## 決算審査特別委員会 意見を付し「認定すべきもの」

令和4年度各種会計（7会計）は、9月8日に決算審査特別委員会（委員長 竹内和彦）を設置し、5日間にわたる審査を行い、9月21日の本会議で次の意見を付し認定しました。



### 意見

山元東部地区農地整備事業において、農地等整備工事は完了したとしている。しかし、今後の管理体制を明確にし、事業完了後に農地等の不具合が発生した場合の対応等については、引き続き、町は県の責任で対応するよう求めるべきである。

## 監査委員 決算審査意見（要旨）

令和4年度の各会計決算及び各種基金の運用状況は、いずれも適正であると認められた。

財政の各指数は健全エリア内となっているが、先を見据えた持続可能な町づくりのため、冷静で慎重な財政運営に引き続き努めていただきたい。

第6次総合計画基本方針関連事業等の令和4年度予算執行状況は、各課とも適切に執行されている状況であり、今後とも目標指標達成に向け、各種事業を実施していただきたい。

令和4年度の実施状況に鑑み、令和5年度は、第6次山元町総合計画の後半5年間のローリング計画を打ち出す予定であるとのことであり、これを機にシステムチックな目標管理のしくみを構築するよう期待する。

加えて本町の発展をより確かなものにするために、総合計画の推進に真摯な姿勢で取り組まれることを切に望む。



# 令和4年度決算 意見を付し「認定」

## 決算概要

一般会計及び4特別会計を合わせた歳入歳出決算額は、歳入総額158億1,278万円、歳出総額149億8,160万円となっています。

歳入歳出決算額は前年比で減となっており、前年同様自然災害や新型コロナウイルス感染症による、復旧・感染関連に要する費用の増大があったものの、歳入歳出差引額は8億3,118万円の黒字となりました。

また、公営企業会計では水道事業会計で2,925万円、下水道事業で1億4,455万円の純利益となりました。

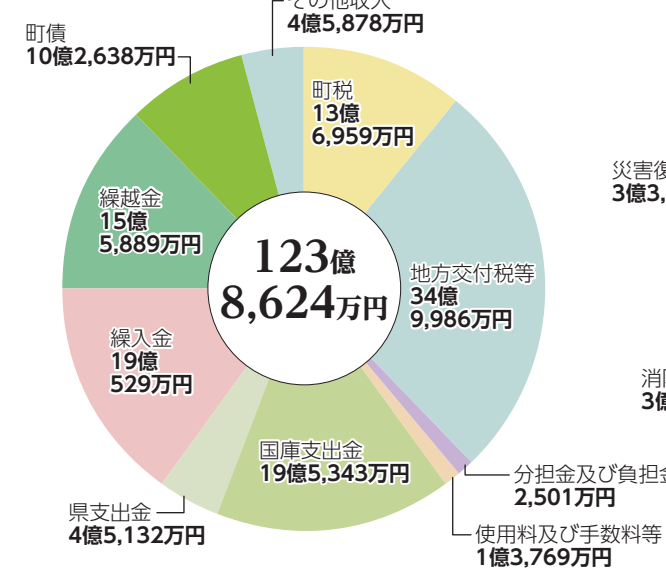
## 令和4年度 各会計決算一覧 (千円以下四捨五入)

会計名	歳入	歳出
一般会計	123億8,624万円	117億1,450万円
特別会計		
国民健康保険事業	16億7,459万円	16億5,362万円
後期高齢者医療	1億9,447万円	1億9,258万円
介護保険事業	15億5,322万円	14億1,664万円
亘理地域介護認定審査会	426万円	426万円
水道事業会計		
収益的収入	3億7,631万円	収益的支出 3億4,706万円
資本的収入	5,627万円	資本的支出 1億9,383万円
下水道事業会計		
収益的収入	6億2,260万円	収益的支出 4億7,805万円
資本的収入	3億2,334万円	資本的支出 5億9,634万円

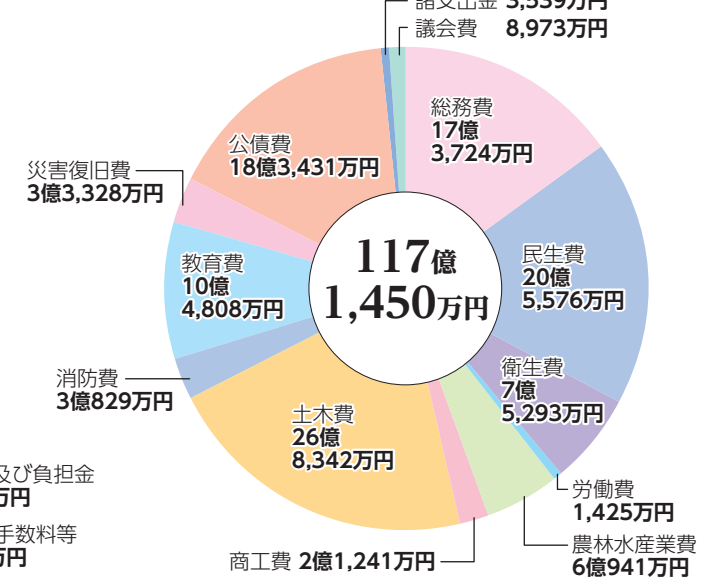
**定例会概要**  
第3回定例会は、9月1日から9月21日までの21日間の日程で開催されました。  
今回の会議では、町長提出議案25件（報告2件、条例2件、契約3件、補正予算6件、同意3件、認定7件、その他2件）、特別委員会報告1件を審議し、議案は原案通り可決しました。  
また、町長へ、今後のまちづくりや町政運営について、7人の議員が一般質問を行いました。

## 一般会計決算内訳(グラフ)

### 【歳入】



### 【歳出】





# 目で見える 決算

## 災害廃棄物処理事業



1億4,689万円

## 山下第一小学校大規模改修事業



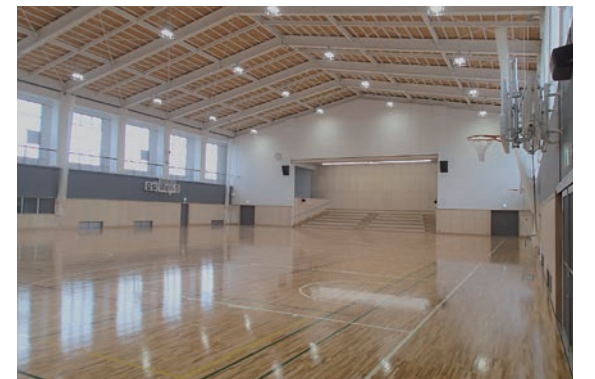
2億1,810万円

## 農地復興推進事業



1億4,145万円

## 町民体育館災害復旧事業



1億7,426万円

## 移住定住促進補助事業



5,919万円

## 農漁業者燃油価格高騰支援事業



1,765万円

## 中浜滝の前線道路改良事業



7,754万円

## 文化財保護事業



1,050万円

### 特別委員会質疑

#### ○移住定住促進

議員 政策は高く評価している。婚活や出生率は、まちづくりの最重要課題だと考えるが、町長 一番難しく、重要課題である。全体を見ながら、婚活事業施策も考える。

議員 移住定住する子育て世代にとって、通勤、通学するには便利な宅地が少ない。公共資産を有効かつ積極的に活用すべきでは。

町長 定住促進を図っても、土地がないとダメである。今後、検討をしていく。

#### ○公共交通

議員 町民バス等に係る計画策定に関する進捗状況を伺う。

町長 来年10月頃スタートしたい。今年中に議会に一度方向性を示す考えである。

#### ○農地復興推進事業

議員 工事での不具合など、課題が山積している。今後、県・国への積極的な取り組みを要望すべきでは。

町長 復興期間は昨年度で終了した。しかし、国・県も最後まで責任を持ち取り組むべきと、機会を捉えて要望している。

議員 強い姿勢で徹底して求めるべきである。



#### ○空き地対策

議員 空き地の雑草除去の問題に、積極的に取り組む考えは。

町長 今後、強化し対応していきたい。

#### ○学校の施設管理

議員 スポ少で使える施設が少ない。山小、山一はグラウンドが狭く、野球をする際、道路にボールが出て行く危険性がある。坂小、山二小は校庭が荒れているが対策は。

教育長 学校の周りにフェンスの設置が対策として考えられる。

しかし、学校の授業を基準とするのが基本であり、対策は難しい。校庭の除草は、予算化をし、業者で対応する。維持管理については、来年度に学校、教育委員会と定期的に校庭の表面をきれいにする方法を考える。

#### ○地域活動

議員 次世代を担うリーダーを育てるため、今後のまちづくりにおいて、ジュニアリーダー養成・育成に力を入れる考えは。

教育長 活動を通して人は成長する。コロナ禍で停滞していた活動も復活するので、積極的に指導・支援をしていく。

#### ○業務運営

議員 監査意見の中で、不適切な事務処理について意見されているが、

監査委員 情報共有がなされていない。組織の報告システム、報連・相の仕組み等、情報共有が必要である。



議員は決算のココに着目した

遠藤龍之議員

介護保険料・利用料の負担軽減を

町長 基金の活用で負担軽減を図れば

議員 「山元町中期財政見通し」で示している財政調整基金年度末残高の見通しの動向をどう見ているか。

議員 今後も基金残高等、町財源の正確な把握を求めます。

町長 昨年度末の残高は約48億円であり、令和4年度に策定した推計値は約45億円であったことから、3億円の増額となる。

また、介護保険事業の、決算剰余金、基金高の実績をどう評価し、いかそうとしているか。

議員 令和2年策定時の基金高推計値23億円が改正後の令和4年の推計値43億円と20億円の増、さらに令和4年実績ではさらに3億円増え48億円。見通しに問題は。

議員 結果3億円を超える基金残高となるが、介護保険料、利用料の減免等、基金を活用した介護保険料、利用料の減免等利用者の負担軽減を。

課長 作成した後に福島県沖地震等の事由により基金の残高に直接反映された。

町長 来年に向け、基金の活用で負担軽減を図れば。

議員 令和2年策定時の基金高推計値23億円が改正後の令和4年の推計値43億円と20億円の増、さらに令和4年実績ではさらに3億円増え48億円。見通しに問題は。

議員 結果3億円を超える基金残高となるが、介護保険料、利用料の減免等、基金を活用した介護保険料、利用料の減免等利用者の負担軽減を。

課長 作成した後に福島県沖地震等の事由により基金の残高に直接反映された。

町長 来年に向け、基金の活用で負担軽減を図れば。

令和5年 第1回臨時会

7月28日に第1回臨時会が開催され、「町道中浜滝の前線道路改良工事」に係る補正予算の議案1件を審議し、原案の通り可決しました。



補正予算 【議案第24号】

道路新設改良事業（町道中浜滝の前線道路改良工事）…………… 8,200万円
※建設発生土から購入土に変更のため増額



◆主な質疑

議員 今回利用できなかった建設発生土は、今後利用はできないのか。
課長 土質を見ないと判断できない。
議員 財源に過疎債を活用するの。
課長 活用をする。
議員 なぜ、今このような状況になったのか。
町長 過去の経緯からすれば、早急に整備しなければならぬ防衛の一つである。予算は膨らむが、地域の安全のため理解願いたい。

一般質問 我が町政を問う

- ◇伊藤 貞悦 議員 …………… P8
★1 次世代に町づくりを繋ぎ「住みたい町、山元町」の実現のための施策について
2 少子化、結婚、人口減少対策について
★3 子育て世代への支援について
◇高橋真理子 議員 …………… P9
★1 過疎地域持続的発展計画について
★2 若者の地元定着施策について
3 町の活性化について
◇大和 晴美 議員 …………… P10
★1 人と猫との共生について
◇渡邊千恵美 議員 …………… P11
★1 子育て支援施策について
◇菊地 康彦 議員 …………… P12
★1 継続可能な農業の未来づくりについて
★2 障がい者福祉の課題と対策について
◇岩佐 孝子 議員 …………… P13
★1 持続可能なまちづくりについて
2 「協働」により、誰もが安全安心して住めるまちづくりについて
◇遠藤 龍之 議員 …………… P14
★1 学校給食の取り組みについて
★2 保育事業の取り組みについて
3 町営（公営）住宅事業の取り組みについて

※スペースの都合上、質問項目の前に「★」が付いている内容のみ掲載しております。掲載項目以外の内容の詳細は、右のQRコードから録画映像をご覧ください。➡



○一般質問とは
町の行財政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、所信の表明を求めるもの





伊藤 貞悦 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

## 移住・定住対策の評価や分析は

### 町長 客観的に高く評価している

**議員** 監査委員の決算審査意見書に「子育て定住推進事業は意欲的に取り組まれているが、十分な成果が出ていない現状が見受けられる。もっと創意工夫を重ねて継続的に取り組まれない。」とあるが、このことについてどのようか判断しているのか。  
**町長** 移住補助金に対してある一定の成果や効果は出ていると判断している。今後、何らかの手法を考え、その都度状況を判断し、さらなる支援の有効なあり方を考えて進めたい。

**議員** 移住・定住候補地の地域指定をする等、具体的な計画はないか。  
**町長** 地域を決め定住の促進をとの提案だが、元来この町はコンパクトな町であるとは私に考えている。

**議員** 現体制維持という回答だが、職員も心に時間のゆとりをもって仕事をしなければ良い発想が生まれにくい。体制整備の検討をすべきである。



いい発想を！

## 給食・副食費を

### 全額支援する考えは

#### 町長 一日も早く実現を検討している

**議員** 他の市町村は給食費の全額支援について、前向きに検討している。  
当町では、予算の継続的な捻出方法で踏み切れないようだが、やる気はあるのか。  
**町長** 他の市町村がほとんど進んでいるわけではない。各種の機会をとらえ、国に対して早急に給食費の無償化を進めるよう働きかけているのが現状である。私の公約なので、今でもその気持ちに変わりはない。

早く実現したいと考えているが、決定すれば途中で変更できなくなる。  
前向きに検討している段階であり、もう少し時間をいただきたい。  
**議員** 給食費の無償化は私だけでなく、多くの議員が何度も一般質問等で取り上げている。この件を町長が提案したら過半数の議員の賛成で可決されると思われる。  
一日も早い決断を望んでいる。

## 「過疎地域」対策に

### 向けた施策は

#### 町長 より効果的な施策の展開に努める

**議員** 多くの自治体では空き家等を改修し、移住・定住希望者が「お試し移住」できる施設を整備しているが、本町の計画は。  
**町長** 年度内を目的に空き家等の現地調査や所有者への意向調査を進めている。改修に協力を得られる物件において整備に活用できればと考える。

**議員** 高知県四万十町等では、空き家の所有者や賃貸希望者、町にとって、三方良しと言われる「中間管理住宅」制度を取り入れ、空き家を有効活用し移住・定住促進に成果を上げているが。  
**町長** 空き家や移住・定住対策には有効な手段だと思う。これも調査結果を見て、多少なりとも進めていきたい。



高橋 真理子 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

## 若者の地元定着施策は重要課題だ

### 町長 人材の確保と育成に取り組む



次世代を担うリーダーたち

**議員** 若者の地元定着の具策は。  
**町長** 移住・定住、子育て世帯向けには有効な形で対応できているが、その他の具策には、行き届いていないのが現状である。  
**議員** 若者たちの町に対する課題や夢等を町長と対話する「タウンミーティング」を定期的に開く考えは。  
**町長** 持続的に町を発展させていくためには、若者が町の未来をどう考えているのか、的確に捉えることが重要である。これからの町

づくりを担う発想力豊かな若い力が重要である。今後、地区懇談会の実施を予定している中で、様々な場面を捉えながら若者たちとの対話を常に意識していく。  
**議員** 新たな過疎対策に重要と言われる、次世代を担う若者の「人材育成」の具策は。  
**町長** 具体的にはまだ至っていないが、社会教育活動の分野で、地域づくりに参加するジュニアリーダーの活動を通じて、

次世代を担う若者たちの継続的な育成に努めている。熱意と行動力が期待される「地域おこし協力隊」の活用なども将来的には、若者たちの人材育成に繋がるものと考えている。  
**議員** 中学生から高校生までのジュニアリーダーは現在、何人のメンバーが活動しているのか。  
**教育長** 現在18人である。基本的にはメンバーが自主的に地域の行事やイベント等の運営や支援など、自分たちで企画・立案して活動し、生涯学習課でサポートしている。

**議員** 活動で育まれる郷土愛は町をもっと活性化させたいという思いに繋がる。職員の中にも何人かOBがいると聞かす期待したい。

#### その他の質問

外部からの多様な人材は、町の活性化には欠かせない。国の制度を活用し複数の民間人材を取り入れる考えはないか。





議員 大和 晴美

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

## 町で猫不妊去勢手術の費用助成を 町長 猫の問題が大きくなったら考える

**議員** 令和4年3月議会で、関係機関と連携を図りながら猫の飼育指導の実施及び周知に努めると回答があったが、その後の対応は、**町長** 住民から相談や通報の内容に応じ、その都度、指導や助言を行っている。

事業によっては塩釜保健所と連携して、共同で飼育の現状を確認して、現場での指導を行っている。

**議員** 前回、県獣医師会が実施する不妊去勢手術の助成制度の周知に努めるとしていたが、その後の対応は、**町長** 制度に関するチラシの掲示のほか、助



人と猫が共に生きられる地域へ

成制度の説明や情報提供を行っている。**議員** 個人や団体で、猫の保護、不妊去勢手術している方をどう考えているか。**町長** 飼い主不明猫の無秩序な繁殖増加を抑

制し、住民の生活環境への悪影響を阻止することによって、人と猫の双方が共に生きられる社会環境の実現を目指して活動していると思う。

**議員** 不幸な猫が増えることに心を痛めている方は、多くの時間と労力、費用をかけており、地域住民の理解と協力が必要では。**町長** 今後の検討課題である。

**議員** どのような人と猫との共生についての環境整備を考えるのか。**町長** 飼い主がいる場合は、法令や基準に基づき責任を持って飼育に努めるよう指導をしていく。

**議員** 町独自の猫不妊去勢手術の費用助成を  
する考えは。**町長** これまでと同様、県獣医師会が実施する助成制度の周知を図るとともに、先行事例や動物愛護団体等が実施する支援制度の情報収集、周知に努める。

**議員** 町内には、猫を大事にしている方が多く、共生していると思われる地域がある。東京都多摩市のように「人と猫との共生を目指す」というスローガンを掲げる考えは。**町長** 現状としてはその考えには至っていない。

**議員** 7月8日にボランティア団体と意見交換をした。一番困っているのが、多額の手術費用の問題と聞いている。必要経費の一部を補助してはどうか。**町長** 今後、猫の問題が大きくなってきたときは考えなければいけない。

## 保護者の負担を町が軽減すべき

### 町長 今後の検討課題であり精査対応する

**議員** 現在の保育体制、各保育事業や人員などはスムーズに運営されているか。**町長** つばめの杜保育所は、9月1日現在145人の児童に対し保育士36人が国の基準を基に通常保育に当たっている。

**町長** 交代制にしており、多めに職員を配置しなければ運営はできない。**議員** 負担を軽減するため職員を募集している。

**議員** 保育士を志す若者や、再度、保育士として働く方々が、一番に選ぶような、待遇改善等の施策は。**町長** 保育所職員は、町職員と同じ給料体系の中で働いている。特別扱いではない。

**議員** 子育て世代に対して町の事業が一つ一

つ周知されているか。**課長** 広報紙やホームページ、子育てハンドブックで周知しているが、足りない部分もあり引き続き周知に努める。**議員** 妊婦訪問の際に、もう一度ハンドブックを活用し、事業の説明をしては。**課長** 妊娠8カ月の訪問時に、子育て支援事業について説明している。

**町長** 無理な誘導はしていない。利用者の希望に添える形で今後も進めていきたい。**議員** 幼稚園での預かり保育の保護者負担を軽減すべきではないか。**町長** 今後の検討課題であり、その都度精査し、子育てをする親の負担を軽減するよう対応していきたい。

一時預かりや坂元送迎サービスの事業を含め運営をしている。**議員** 広報やまもとで毎月保育士を募集しているが、人員確保が出来ていないからなのか。

**議員** 子育て世代に対して町の事業が一つ一

**議員** 保育所と幼稚園の違いは周知されているか。**町長** 役割の違いを説明している。**議員** 保育所が満員だと今までは幼稚園を紹介されていたが、今後その対応を継続する

**議員** ファミリーサポートセンタークーポン配布事業の拡充を図る考えはないか。**町長** 今年度は生後6カ月を対象として5時間無料で実施している。利用者を増やすよう対象者の声を聞きながら、子育て支援に取り組んでいく。



素敵な音色のハーモニー

**議員** 幼稚園への土曜保育実施の呼びかけをすべきではないか。また、ファミリーサポートセンター利用者負担を軽減してはどうか。**町長** 今後の検討課題である。**議員** この町を選んで良かったと言える、誇れるまちづくりを期待する。



議員 渡邊 千恵美

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

つ周知されているか。**課長** 広報紙やホームページ、子育てハンドブックで周知しているが、足りない部分もあり引き続き周知に努める。**議員** 妊婦訪問の際に、もう一度ハンドブックを活用し、事業の説明をしては。**課長** 妊娠8カ月の訪問時に、子育て支援事業について説明している。

**町長** 無理な誘導はしていない。利用者の希望に添える形で今後も進めていきたい。**議員** 幼稚園での預かり保育の保護者負担を軽減すべきではないか。**町長** 今後の検討課題であり、その都度精査し、子育てをする親の負担を軽減するよう対応していきたい。





議員 菊地 康彦

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

## 中小規模農家が持続可能な施策を 町長 県事業を活用した支援に努める

**議員** 今後の農業の将来に重要な「人・農地プラン」の作成状況は。  
**町長** 2月に中心経営体や、関係団体との話し合いにより、現況や課題を共有したプランを更新した。  
**議員** 具体的な課題は。  
**町長** 農地所有者と、中心経営体との円滑なマッチング、農地集積・集約の促進が課題である。



これからの農業を皆で考えよう

**議員** 中小規模農家を含まれた地域農業のあり方は。  
**町長** 農業維持には、中小規模農家の経営体も、国の方針に大切な役割とし示されている。  
**議員** 次期計画にも重要とされる「中小規模農家」は今「離農」に追い込まれている。新たな施策は。  
**町長** 県事業を活用した支援に努める。  
**議員** 町の基幹産業を守るためにも、個人経営体や兼業農家も経営維持できる町独自の施策が必要である。

## 障がい者を取り残さない施策を

### 町長 県事業を活用した支援に努める

**議員** 障がい者の就労機会や、工賃向上の施策は。  
**町長** 障がいの程度に応じた支援を行い、工賃の向上につながる計画を県と連携し策定している。  
**議員** 現在の工賃はどの様な状況か。  
**課長** B型支援事業所で、令和3年は月平均1万3千円である。  
**議員** 生活できる金額と思えるか。  
**町長** 本当に少ないと実感している。  
**議員** 最低でも医療費や、生活費を維持するには月3万円は必要とされている。  
**町長** 国に頼る部分が大いだが、町独自の支援ができていないのが現状である。  
**議員** 成功事例などを参考にし、計画づくりが必要では。  
**町長** 対応していきたい。  
**議員** 企業との連携は。  
**課長** 企業が子会社を作り障がい者の雇用を試みている「農福連携」の例がある。町でも、農業関連事業所に業務委託契約をし、施設外労働をしているケースがある。  
**議員** 施設外労働だと賃金が安い。農福連携は「障がい者が主役」にならないかならぬ。  
**課長** 町ではその様な状況にない。  
**議員** 農福連携は工賃向上のみが目的ではなく、担い手の育成、障がい者一人一人が役割を発揮し、達成感を持つ施策である。

**町長** 提言を調査し、支援に繋がるよう努めたい。  
**議員** 今、多くの障がい者が親元を離れ、町外でグループホームに入所し生活している。グループホームの構築と、就労機会を作ることににより、親亡き後、町で豊かに生きていく事を切に願う。

## 住民の声を生かした町づくりを

### 町長 各行政区での懇談会を開催する

**議員** 震災後、転出者が増加し少子高齢化が急激に襲来している。持続可能な町づくりのため住民の声を聞くことが重要ではないか。  
**町長** 町民の声を聞かせていただくため各行政区での懇談会を計画している。  
**議員** 開催時での日時や形態等の留意点は。  
**町長** 各地区と相談し、町民の意見を聞く。  
**議員** 町民の小さな声も大事に拾い上げ、町政に反映するよう望む。  
**町長** 小さいうちから



議員 岩佐 孝子

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

また町としてのリーダー養成はどのように考えているか。  
**町長** 震災後は復興事業に力を注視してきた。町が主体となった勉強会等を開催していきたい。  
**議員** リーダー養成は、小学生のインリーダー、中・高生のジュニアリーダー研修などを実施すべきでは。  
**教育長** 小学生対象のリーダー養成も検討していく。  
**町長** 小さいうちから

社会で活躍できる人材育成は大切であり、検討していく。  
**議員** 声を聞くだけではなく、職員と町民が共に協働した町づくりを目指していくべき。  
**町長** また、移住定住施策により、子育て世代の転入者が増加している。幼児数減少とは言え、保育所待機児童が8月末現在2人出ている。保育士確保対策は。  
**町長** 実習生受け入れや、声かけ、公募はしているが、雇用までには結びついていない。  
**議員** 保育士資格取得者の人材登録バンク登録等はしているのか。  
**町長** していない。  
**議員** 感染症予防や地域性等を考え、保育所を早急に整備すべきでは。



大人も子どももみんな遊び





えんどう たつゆき 議員 遠藤 龍之

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

### 計画に基づく待機児童対策に問題は町長 保育士確保に力を入れ解消に努める

議員 希望しても認可保育所などに入れない待機児童が過去最少を更新、宮城県についても6年連続減少を続け、41人まで減少、待機児童0の自治体も28町村過去最多になった。一方、残念ながら町では1人増えたことが取り上げられているが、待機児童対策に問題はなかったのか。町長 現在0歳児2人の待機児童が発生している。町の保育士採用に力を入れることで、待機児童の解消に努めたい。

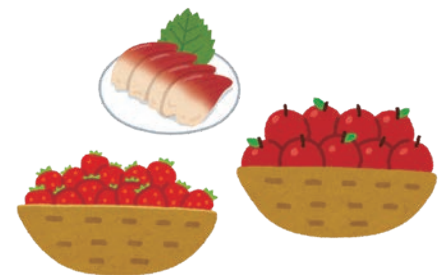
議員 「山元町子ども子育て支援事業計画」では、「将来的に0、2歳児の保育ニーズの増加が予想されるため、小規模保育事業等の設置も視野に入れ、事業量の確保に努める。」として待機児童対策を取り上げているが、計画に基づいた取り組みは、なされてきたのか。町長 目標に向けての施策には至っていない。議員 待機児童をなくすことが、今の町の喫緊の課題である。施設の整備も含め、具体的な対策の早期実現を求め。

議員 学校給食の取り組みについて、本来の目的である「食を通じて人間づくり」の基本を実現していくことや、学校給食は教育の一環として子どもの食生活の改善やすべての子どもの健康な身体づくりを公的に保障する極めて重要な取り組みと言われている。食材の地産地消の現状と拡充等への取り組みは。町長 国は給食費無償化の検討状況や中期財政見通しの収支傾向等を総合的に判断し、年明け後の早い時期に示したい。

議員 最近、学校給食費の無償化が急速に増え、491自治体を取り組んでいる。町ではこれまで財源問題を理由に消極的な対応であったが、それは理由にならない。年明け後の早い時期に示すとしているが、今すぐの実施を強く求める。議員 食育の取り組みの現状は。

### 学校給食費の完全無償化を

町長 年明け後の早い時期に伝えたい



その他の質問 町営住宅事業取り組みについて 「山元町町営住宅長寿命化計画」の取り組みの現状は。 「公営住宅」入居者、新規入居者の現状と対応は。

## 補正予算

### 〇一般会計補正予算概要

当初予算編成後の人事異動に係る人件費の調整額措置と、物価高騰に直面する生活者等の負担軽減を図るため、様々な支援策に係る経費を計上しています。

また、その他の歳出予算として、ヘルメット購入補助や、老朽化が著しく早急な対応が必要となる町指定文化財「大條家茶室」改修等工事に係る費用など、合計で1,200万円を増額し、総額85億411万円となりました。

### 〇主な事業

水道基本料金減免事業補助金（10月から2カ月分）	2,112万円
高圧電力使用事業者支援事業（62業者対象）	1,950万円
ケアハウス移設工事費	235万円
町指定文化財「大條家茶室」修復等工事	2,570万円

### 〇主な質疑

議員 自転車用ヘルメット購入費補助金70万円の補助条件は。

課長 全町民を対象に、1人2,000円を上限とし、350人と考えている。

議員 水道基本料金、2カ月間の減免はいつからか。また、対象者は。

課長 減免は10月からである。対象者は、一般家庭・企業・イチゴ農家も対象とする。



## 条例

### 〇山元町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例【議案第37号】

町長・副町長及び教育長の給料月額を以下のとおり減額するもの。

※提案理由

職員の不適切な事務処理に関し、管理監督者としての責任を重く受け止め、町長、副町長及び教育長の給料月額を減額する。

- (1) 町長・副町長・・・給料月額から10%を3カ月間減額
- (2) 教育長・・・・・・給料月額から10%を2カ月間減額

## 人事【敬称略】

### 〇固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて【同意第2号、第3号、第4号】

同意第2号 さいとうただお 齋藤忠男 (つばめの杜東区) を同意 ※再任

同意第3号 わたなべのぶお 渡邊信夫 (つばめの杜西区) を同意 ※再任

同意第4号 たかのひろゆき 高野弘幸 (町区) を同意 ※新任



# 小・中学生議場見学会を開催

## 主な質問

『議員』ってなにしてるの？

『議会』ってなあに？



8月10日(木)に、議会主催による小・中学生を対象にした議場見学会を開催しました。見学会には、午前の部小学生14人、午後の部中学生8人の参加がありました。子どもたちは自分の名前が表示された議員席に着席し、「議会って?」「議員の仕事について」「議員定数」等について議会事務局職員から説明を受けました。その後、子どもたちから議員に対し町づくりに関する鋭い質問や意見が出され、議員から回答しました。質疑応答後には、議場見学、議長・町長席に座り将来への夢を語り合っていました。

### 小学生の部

**Q** 議員の仕事は楽しいですか。どんな仕事をしていますか。  
**A** 責任が大きく大変な仕事です。町のお金の使い方、仕事が町民のために正しく行われているかを調べたりしています。

**Q** 中学校にダンス部を作るにはどうしたらいいですか。  
**A** 幼児期からダンスを習い中学生になったらダンス部を作りたいとは聞いています。部員数や顧問の確保等、多くの課題はありますが、仲間を誘い合い作るよう頑張ってください。応援しています。

### 中学生の部

**Q** 選挙の投票率はどうすれば上がると思いますか。  
**A** 議員一人一人が、どんな町にしたいかを町民に伝え、共感できる候補者がいれば、投票率は自然と上がると思います。

**Q** 議員の具体的な仕事を教えてください。  
**A** 会議出席(議定例会、常任委員会、全協議会等)、日常の活動、調査として町民からの相談、各団体との意見交換、各種行事への参加、情報収集等を行っています。町民の代表者として意見を行政に反映、監視をしていくため活動しています。



皆さん堂々と議員に質問していました！

**Q** 町独自の少子化対策について教えてください。  
**A** 出生時には出産・子育て応援給付金や私立幼稚園入園補助など生まれた時から高校・大学等卒業まで切れ目のない子育てサポートをしています。

# 町の仕事をチエック!!

## 総務民生常任委員会

### ○適正な職員配置

#### 調査内容

現在の職員数、職員ピラミッド及び包括事務業務委託の職務内容、人数について説明を受け調査した。

#### 意見

① まちづくりを担うリーダー養成のためにも、関係部署の人事配置に配慮された。  
② 保育士、保健師の人材確保のために引き続き、大学、専門学校への訪問を継続し、また不足する土木技師確保については、退職後の人材や、国の制度を活用した専門家等の採用も検討すべきである。

## 産建教育常任委員会

### ◇農業振興地域整備計画

#### 調査内容

計画の全体見直しの実施に伴い、農振農用地の除外申出受付が一時休止となることから、休止による影響及び今後の対応について調査した。

#### 意見

県との協議期間も含め、除外申出受付が1年9カ月休止となり、その間、農振用地区域内は農地転用不可となることから、対象者並びに関係機関への周知を早急にすべきである。

### ◇山元東部地区農地整備事業

#### 調査内容

現時点での作業スケジュール及び業務の進捗状況について調査した。

#### 意見

今年度事業完了に向け「東部地区整備室」が再び設置されたことから、これまでの事業を改めて確認し、速やかに実施していくべきである。

### ◇物価高騰に伴う各産業への支援

#### 調査内容

現在、実施している各産業への支援状況について調査した。

#### 意見

今後、国及び県の動向を見極め、引き続き支援等を講じていくべきである。

### 優良市町村視察研修

#### ・月日

8月2日～4日

#### ・研修地

長野県小布施町  
長野県伊那市

#### ・研修内容

新規就農支援事業について



## 議員の会議等出欠状況

令和5年7月1日～9月30日 出席：○ 欠席：欠(病気等)・公(公務) 員外：-

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
				伊藤貞悦	品堀栄洋	岩佐秀一	大和晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内和彦	遠藤龍之	岩佐孝子	阿部均	菊地康彦	高橋建夫	岩佐哲也	
7	3	月	総務民生常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	○	—	
	7/5～7 巨理地方町議会議長会視察研修			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	
	10	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	火	広報・広聴常任委員会	—	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○	—	—	
			仙南・巨理地方町議会議長会 常任委員長研修	○	—	公	—	—	—	○	○	—	—	—	○	○	
	12	水	仙南・巨理地方町議会議長会 常任委員長研修	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—	—	○	○	
	20	木	広報・広聴常任委員会	—	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○	—	—	
			県町村議会議長会 議員講座	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
	21	金	県町村議会議長会 議員講座	—	○	—	—	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
	24	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○
産建教育常任委員会			—	○	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	—	—	—
28	木	第1回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	2	水	総務民生常任委員会・優良市町村視察研修	○	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—
			優良市町村視察研修(産建教育常任委員会)～4日	—	○	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	—	—
	7	月	広報・広聴常任委員会	—	—	欠	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—	
	9	水	名取巨理地区市町議会連絡協議会・巨理地方町議会議長会 議員研修	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	10	木	小・中学生議場見学会	—	—	欠	—	○	—	—	—	○	—	○	○	欠	—
	17	木	産建教育常任委員会	—	欠	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	—	—
	18	金	県町村議会議長会 議員セミナー	欠	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠
	21	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	24	木	全国議会議長会 広報クリニック	—	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	欠	—	—
			宮城県町村議会議長会正副議長研修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠	○
29	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
30	水	議会運営委員会	○	—	—	○	—	—	○	○	—	—	○	欠	○	—	
9	第3回議会定例会(9/1.5.6.8.21)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
	決算審査特別委員会(9/8.11.12.19)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	—	
	決算審査特別委員会(9/14.15)			○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	—	
	19	火	広報・広聴常任委員会	—	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	欠	—	
	20	木	総務民生常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	欠	—	
			産建教育常任委員会	—	○	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	—	
			常磐自動車道建設促進特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—	
	27	水	広報・広聴常任委員会	—	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	欠	—	
	29	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	

## 議長交際費

区分	7月		8月		9月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
会費	8,000	叙勲祝賀会出席	5,000	巨理郡内経済団体意見交換会	5,000	消防団OB会総会
慶弔	—		21,500	前山元町議員葬儀 弔花、弔慰金	—	
その他	13,726	視察お土産代 ほか2件	—		—	
合計	21,726		26,500		5,000	

## 令和5年 第3回定例会 議案等の審議結果(決算関係はP2～5に記載)

議案番号	議案名	結果	
報告第7号	令和4年度決算山元町健全化判断比率について	報告	
報告第8号	令和4年度決算山元町公営企業資金不足比率について		
認定第1号	令和4年度山元町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	
認定第2号	令和4年度山元町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について		
認定第3号	令和4年度山元町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		
認定第4号	令和4年度山元町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について		
認定第5号	令和4年度巨理地域介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について		
認定第6号	令和4年度水道事業会計決算認定について		
認定第7号	令和4年度下水道事業会計決算認定について		
議案第25号	山元町町営住宅条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)	
議案第26号	令和5年度 社総交(防安)請1号 巨理用水路東線道路改良工事請負契約の締結について		
議案第27号	令和5年度 道改1号 南山下線道路改良工事請負契約の締結について		
議案第28号	令和4年度(債務)道改7号 中浜滝の前線道路改良工事請負契約の変更について		
議案第29号	町道の路線廃止について		
議案第30号	町道の路線認定について		
議案第31号	令和5年度山元町一般会計補正予算(第3号)【P15に記載】		
議案第32号	令和5年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		
議案第33号	令和5年度山元町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		
議案第34号	令和5年度山元町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		
議案第35号	令和5年度山元町水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第36号	令和5年度山元町下水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第37号	山元町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例【P15に記載】		
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて【P15に記載】		同意
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて【P15に記載】		
同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて【P15に記載】		

## 令和5年 第1回臨時会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第24号	令和5年度山元町一般会計補正予算(第2号)【P7に記載】	可決 (全会一致)

## 請願・陳情の受理

陳情番号	件名	陳情者等の氏名	結果
陳情第2号	宮城県の乳幼児医療費助成制度(子どもの医療費助成制度)について 県に対する意見書採択を求める陳情書	子ども医療ネットワークみやぎ 代表者 岩倉 政城	配布
陳情第3号	令和6年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願	公益社団法人日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	配布





## 「けんこまつり」賑やかに開催

けんこまつり実行委員会委員長 齋藤慶治

東日本大震災で甚大な被害を受け、平成25年3月に閉校した中浜小学校の10年目の節目に「第23回けんこまつり」を坂元おもだか館で開催しました。

「地域・学校・家庭」が協働し、平成2年度から震災前まで22年間継続してきた「けんこまつり」でした。地域に根付いていた「けんこまつり」を閉校しても復活させたいという教職員・地域・卒業生の強い思いがあり実行委員会を組織し再開することができました。

当日は、卒業生を始め元教職員、地域やゆかりのある約200人超の方が参加。卒業生や小学生、地域有志が6月から毎週金曜日に練習を重ねた「坂元子ども神楽」の成果を披露し、会場を沸かせました。

また、タイムカプセルに入った児童の思い出の品や、閉校時に地域住民110人が書いた「10年後の自分に向けたメッセージ」を開封。次々と取り出され、それぞれの手元に戻り思い出を語り合っていました。

当時の井上剛校長は、「参加者の多くは震災を乗り越えてきた人々。これからも困難なことがあるかもしれないけれど、負けずに頑張ってもらいたいので、集まるきっかけは大事です。」「今後も卒業生、地域の老若男女が交流でき賑わいのある場を作っていく応援をしたい。」と語っております。



※「けんこまつり」「けんこ」とは、方言で「貝殻」のことである。「健康」と「けんこ」の語呂合わせで「けんこまつり」と命名した。

## ◆ ◆ ◆ お知らせ ◆ ◆ ◆

議会のホームページをご覧ください



山元町議会

検索

### 令和5年 第3回山元町議会臨時会 初議会 (予定)

会 期：11月13日 (月)  
開 会：午前10時

### 令和5年 第4回山元町議会定例会 (予定)

会 期：12月6日 (水) ~ 13日 (水)  
開 会：午前10時  
本会議：12月6日・8日・11日・13日  
(一般質問：12月8日・11日)

### 〈議会広報・広聴常任委員会〉

委員	委員	委員	副委員長	委員長
高橋 建夫	岩佐 孝子	渡邊 千恵美	菊地 康彦	岩佐 秀一

**編集デスク**

今年の夏は、突き刺さるような日差しの中を耐え抜いた日々でした。今回は、決算審査特別委員会を中心に編集しています。限られた予算が、適切に使われているかチェックすることが議会の役割です。皆様も議会や議員の発言、行動をチェックしていただき、声を出して町づくりに参加し、紙面づくりにご協力をいただければ幸いです。今回の常任委員会メンバーとしては、最後の紙面づくりとなりました。手を取り見てくださった多くの方々に心から感謝申し上げます。  
(委員 渡邊千恵美)